

第8回
地域に飛び出す公務員を
応援する首長連合サミット
in 岐阜



と き：2018年11月17日(土)・18日(日)

ところ：岐阜県飛騨市 古川町公民館

プ ロ グ ラ ム

◆11月17日(土) <1日目>

13:00 開場【会場】古川町公民館(2階大会議室)

14:00 開会

オープニング

北辰若連中獅子舞

挨拶

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合代表

平井伸治 鳥取県知事

開催地首長

都竹淳也 岐阜県飛騨市長

首長連合提唱者

椎川 忍

一般財団法人地域活性化センター理事長

14:25 地域に飛び出す公務員アワード2018

(~16:00)

◆受賞者の中から5名の発表と表彰

<休憩>

16:10 首長サミット(首長会議)

(~17:30)

◆参加首長 11名

山本 進

北海道東神楽町長

蝦名大也

北海道釧路市長

白岩孝夫

山形県南陽市長

牛越 徹

長野県大町市長

尾関健治

岐阜県関市長

都竹淳也

岐阜県飛騨市長

柴橋正直

岐阜県岐阜市長

谷畑英吾

滋賀県湖南市長

平井伸治

鳥取県知事

半渡英俊

宮城県木城町長

17:30 記念撮影

17:45 閉会

18:45 交流会【会場】料理旅館 蕪水亭(ぶすいてい)

(~20:45)

21:00 夜なべ談義【会場】蕪水亭おはこ

(~22:30)

◆11月18日(日) <2日目>

エクスカーション

Aプラン 8:30~

飛騨市役所集合⇒レールマウンテンガッタンゴー⇒JR 飛騨古川駅 11:45 解散

Bプラン 9:30~

飛騨市役所集合⇒飛騨古川まつり会館⇒古川町まちなか散策⇒飛騨市役所 11:30 解散

*****【INDEX】*****

◆ 地域に飛び出す公務員アワード 2018-----	1
◆ 首長サミット（首長会議） -----	2
◆ 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合「三ツ星首長の基準」 -----	3
◆ 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合の概要 -----	4
◆ 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合のお約束 -----	7
◆ 地域に飛び出す公務員を応援する施策 調査結果-----	8
◆ 欠席首長からのメッセージ -----	12

地域に飛び出す公務員アワード 2018

14 : 25～16:00

発表者

氏 名	所 属 名	活 動 名
筒井 加奈	高知県庁	地元の戦国武将を通じて地域活性化を！
西澤 公太	福井県 福井市役所	福井市提案型勉強会！
秋田 大介	兵庫県 神戸市役所	須磨ユニバーサルビーチプロジェクトを全国に広める
小野寺 達弥	北海道 更別村役場	街をサンタでいっぱい！ 病気と闘う子供たちへプレゼントを贈る
河村 将雄	静岡県庁	静岡の自治会組織を第三者視点で支援「里山くらしLABO」

MEMO

首長サミット(首長会議) 16:10~17:30

【出席者】

山 本 進	北海道東神楽町長	蝦 名 大 也	北海道釧路市長
白 岩 孝 夫	山形県南陽市長	牛 越 徹	長野県大町市長
尾 関 健 治	岐阜県関市長	都 竹 淳 也	岐阜県飛騨市長
柴 橋 正 直	岐阜県岐阜市長	谷 畑 英 吾	滋賀県湖南市長
平 井 伸 治	鳥取県知事	半 渡 英 俊	宮崎県木城町長

MEMO

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合

三ツ星首長の基準

その1

首長も一住民である。首長自身が「地域活動をやっていますか」と尋ねられて「はい」と元気よく返事できること。

その2

職員に公務とは別にプラスワンで一住民として役所を飛び出して地域でのさまざまな活動を行うことをすすめている（呼びかけている）こと。

その3

職員自身が一住民として役所を飛び出して地域でのさまざまな活動をやっている動きが見えること

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」の概要

<http://tobidasu-rengo.com/wp/>

【設立趣旨】

公務員が自分の時間を活用して、一国民、一地域住民として、職場や家庭における役割に加え、プラスワンとして、社会貢献活動、地域づくり活動、自治会、PTA、消防団、NPO 法人などの活動に参画することは、国民、地域住民と意思を共有し、ひいては現場の国民目線、住民目線で行政を推進することにつながる。

このことは、公務員のミッションを再確認し、行政のあり方を国民本位、住民本位に変えていくためにきわめて有効であり、新しい公共や住民協働といった行政と国民、住民の間の新たなパートナーシップを構築していくための政策を進めていく上でも重要なことである。

よって、ここに我々は意を同じくする仲間として、地域に飛び出す公務員の活動を応援していくための首長連合を結成し、それぞれの立場で次のような施策を積極的に講じていくことを宣言する。

地域に飛び出す公務員の活動を応援するため、

- 1 首長自らが先頭に立って運動を展開する
- 2 組織全体で応援できるような方策を講じる
- 3 その他、あらゆる方策を検討し、実施する

【設立年月日】 平成 23 年（2011 年）3 月 17 日

【参加首長】(敬称略・順不同) 62 名（2018 年 11 月 17 日現在）代表:平井伸治（鳥取県知事）

北海道	片山 健也（ニセコ町長） / 山本 進（東神楽町長） / 蝦名 大也（釧路市長）
山形県	吉村美栄子（山形県知事） / 白岩 孝夫（南陽市長） / 佐藤 孝弘（山形市長）
茨城県	今泉 文彦（石岡市長）
群馬県	黒澤 八郎（上野村長）
埼玉県	上田 清司（埼玉県知事） / 清水 勇人（さいたま市長） / 久喜 邦康（秩父市長）
千葉県	越川 信一（銚子市長） / 佐渡 斉（四街道市長） / 松下 浩明（山武市長）
	太田 洋（いすみ市長） / 小坂 泰久（酒々井町長） / 石橋 輝一（神崎町長）
	岡田 正市（栄町長）
東京都	藤野 勝（武蔵村山市長）
新潟県	國定 勇人（三条市長）
富山県	高橋 正樹（高岡市長）
山梨県	渡辺 英子（北杜市長）
長野県	阿部 守一（長野県知事） / 牛越 徹（大町市長） / 清水 秀樹（売木村長）
岐阜県	尾関 健治（関市長） / 都竹 淳也（飛騨市長） / 柴橋 正直（岐阜市長）
愛知県	吉岡 初浩（高浜市長） / 久保田 桂朗（岩倉市長） / 岡村 秀人（大府市長）
三重県	鈴木 英敬（三重県知事） / 岡本 栄（伊賀市長）
滋賀県	三日月 大造（滋賀県知事） / 野村 昌弘（栗東市長） / 谷畑 英吾（湖南市長）
兵庫県	谷口 芳紀（相生市長） / 片山 象三（西脇市長） / 多次 勝昭（朝来市長）
	福元 晶三（宍粟市長）
奈良県	仲川 げん（奈良市長） / 小紫 雅史（生駒市長）
和歌山県	田岡 実千年（新宮市長）
鳥取県	平井 伸治（鳥取県知事） / 石田 耕太郎（倉吉市長） / 松本 昭夫（北栄町長）
	伊木 隆司（米子市長）
島根県	速水 雄一（雲南市長）
広島県	入江 嘉則（神石高原町長）
岡山県	太田 昇（真庭市長）
香川県	大西 秀人（高松市長）
愛媛県	野志 克仁（松山市長） / 管家 一夫（西予市長）
高知県	板原 啓文（土佐市長） / 楠瀬 耕作（須崎市長）
佐賀県	小松 政（武雄市長） / 江里口 秀次（小城市長）
長崎県	中村 法道（長崎県知事） / 田上 富久（長崎市長） / 江上 悦生（新上五島町長）
熊本県	荒木 義行（合志市長）
宮崎県	半渡 英俊（木城町長）

【これまでの活動経過】

1. ホームページ、フェイスブックによる情報発信

●ホームページ <http://tobidasu-rengo.com/wp/>

●フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/tobidasurengo/>

2011年3月10日に首長連合ブログを開設し、連合参加首長のメッセージ、行事の案内等を順次掲載し、情報発信を続けている。⇒2018年6月にサイトリニューアル

また、2017年6月にフェイスブックに首長連合ページを開設し、更なる情報発信に取り組んでいる。

2. 「iJUMP」(時事通信社インターネット行財政情報モニター) への連載

2011年7月より、時事通信社が配信している「iJUMP (アイ・ジャンプ)」(インターネット行財政情報モニター) へ、連合参加首長のコラム等を掲載している。これまでに、以下9名のコラム、インタビューを掲載。

(敬称略・掲載順) ◆時事通信社 iJUMP <http://jamp.jiji.com/info/>

- ・多次 勝昭(兵庫県朝来市長) 「地域に飛び出す公務員を応援＝首長連合発足に寄せて」
- ・荒木 義行(熊本県合志市長) 「目指すは『ドラえもん』のような職員づくり」
- ・小坂 泰久(千葉県酒々井町長) 「地域の相談に対応できる『総合職員』を育成」
- ・鈴木 英敬(三重県知事) 「現場感覚磨き、地域に果实を」
- ・白石 勝也(愛媛県松前町長) 「公務員も現場主義を強調」
- ・中村 時広(愛媛県知事) 「職員はどんどん現場に」
- ・鈴木 俊美(栃木県栃木市長) 「強く、やさしく、頼れるまちづくり」
- ・井原 巧(愛媛県四国中央市長) 「公務員と地域住民のつながりが地域の力」
- ・安田 公寛(熊本県天草市長) 「職員は地域のけん引役に」

3. 各自治体の応援施策調査(アンケート)の実施

連合参加首長に対して、各自治体における職員の地域活動等への応援施策に関するアンケート調査を実施している。

- ・2011年度 31自治体より回答。結果を第1回サミットにおいて報告。
- ・2012年度 47自治体より回答。結果を第2回サミットにおいて報告。
- ・2013年度 50自治体より回答。結果を第3回サミットにおいて報告。
- ・2014年度 過去3年間の応援施策調査を踏まえ、さらに内容を深く掘り下げて、15の施策を調査。結果を第4回サミットにおいて報告。
- ・2015年度 「ボランティア休暇等」をテーマに調査を実施し、48自治体より回答。結果を第5回サミットにおいて報告。
- ・2016年度 「地域に飛び出す活動への評価と人事異動への反映」をテーマに調査を実施し、60自治体より回答。結果を第6回サミットにおいて報告。
- ・2017年度 「公務員の公共性のある組織での副業」をテーマに調査を実施し、47自治体より回答。結果を第7回サミットにおいて報告。
- ・2018年度 「公務員の副業」をテーマに調査を実施し、46自治体より回答。結果を第8回サミットにおいて報告。

4. サミットの開催

連合参加首長が一堂に会して話し合い、交流する場としてサミットを開催している。

- ・第1回サミット： 2012年1月28日 愛媛県松山市 首長12名、他約100名参加
- ・第2回サミット： 2013年1月26日 福島県伊達市 首長11名、他約100名参加
- ・第3回サミット： 2014年1月25日 千葉県山武市 首長9名、他約300名参加
- ・第4回サミット： 2014年11月29日 兵庫県朝来市 首長14名、他約160名参加
- ・第5回サミット： 2015年11月22日 滋賀県湖南市 首長10名、他約100名参加
- ・第6回サミット： 2016年1月28日 千葉県酒々井町 首長19名、他約140名参加
- ・第7回サミット： 2017年11月25日 北海道東神楽町 首長10名、他約120名参加

【事務局】 全国の自治体職員有志23名で運営 事務局長：福田忠司（鳥取県）

（50音順） ■連絡先：tobidasukk-staff@googlegroups.com

伊藤 洋平（元東京都多摩市） / 今村 陽子（福岡県） / 岩谷 圭（鳥取県） / 岩永 幸三（佐賀県）
大橋 志帆（群馬県太田市） / 岡野 義広（千葉県酒々井町） / 梶谷 彰男（鳥取県）
川津 裕一（滋賀県栗東市） / 小泉 義隆（北海道東神楽町） / 後藤 好邦（山形県山形市）
坂田 啓子（佐賀県小城市） / 茂田 幸嗣（広島県） / 須山 広周（愛媛県）
胎中 謙吾（奈良県奈良市） / 津崎 龍也（熊本県天草市） / 寺島 直樹（岡山県岡山市）
永淵 恵子（長崎県） / 永美 収（鳥取県） / 西崎 隼人（三重県） / 福美 江津子（兵庫県川西市）
幕田 典昭（福島県伊達市） / 森 貴俊（鳥取県）

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」のお約束

（その１ 呼び方）

この会は、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」（以下「首長連合」という。）と呼びます。

（その２ 設立の思い）

首長連合は、公務とは別にプラスワンで、一住民として役所を飛び出して地域でのさまざまな活動を行う公務員（以下「飛び出す公務員」という。）を応援するために設立しました。住民との協働（又は新しい公共）の実現を目指して。

飛び出す公務員として活動をしていると、時として（又はしばしば）なんとなく居づらい思いをしたりして、自分はおかしなことをしてるんじゃないだろうか、と思うことがあります。そういうときに職場に理解ある上司がいてくれればとても大きな支えになります。それが自分の任命権者である知事や市町村長であればなお力強いものがあると思います。こんな私でもお役にたてるのであればその飛び出す公務員を応援しよう、という首長は、ある意味めずらしいのかもしれませんが。飛び出す公務員は正しい！そしてその人たちを応援しようという自分たちはもっと正しい、と信じる首長が集まってそれぞれの地域で行動しよう、というのが首長連合設立の思いです。

（その３ 加入の条件）

次の３箇条を地元住民に約束し、事務局に「首長連合に参加する」旨の意志を伝えます。

- （１）設立の思いにこころから共鳴すること
- （２）首長連合の活動を積極的且つ継続的に情報発信すること
- （３）飛び出す公務員に対して、具体的かつ適切な応援施策を実施すること

（その４ 活動の原則）

首長連合はゆるやかなネットワークです。それぞれの首長の責任において、それぞれの地域でその３の加入条件に掲げる活動を行います。

ただし、時々には首長連合として一緒に行動します。何か言いたい場合はどうか代表のところへどうぞ。ただし、こうしたゆるいネットワークの常として代表がなにほどのものであるわけではなく、だからといって、事務局が絶大な支配権を及ぼしているわけでもないことはどうか御了解ください。

ということは、たいていの場合、それぞれの首長の責任と判断において自分で考え自分で行動する、ということになります。意外に大切な原則です。

（その５ 代表）

とはいえ、組織ですので首長連合に代表を置くことにし、初代代表は古川康佐賀県知事とします。後任はその都度決めます。（２代目：平井伸治鳥取県知事）

（その６ 事務局）

代表は首長ですが首長というのは自分だけではいろんなことができません。そこでお世話をする事務局を置くことにします。その中に１名事務局長をおき、代表が選びます。

事務局長だけでは頼りないので全国の熱い職員にも事務局員をお願いすることになっています。自分とこのboss以外と仕事するのはけっこう新鮮だったりします。あまり気を遣わずにすみませう。

（その７ 共鳴）

首長を引退したとき、選挙で不如意な結果に終わったときは、首長連合から脱退します。

ただし、それぞれが生涯にわたって飛び出す公務員を応援することにします。これは仕事ではなく、生き方への共鳴だから、です。

（付 則）

このお約束にないことや疑義がでてきたときは、「ゆるく」「その都度」「適切に」の三つのキーワードに沿って解決を図ります。

公務員の兼業について

平成30年11月17日

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合事務局

1 営利企業への従事等の制限(地公法第38条)について

(1) 制度の概要

一般職の地方公務員(以下「職員」という。)は、例外的に任命権者の許可を受けることによって営利企業に従事することができ、また、人事委員会を置く地方公共団体の職員については、人事委員会はその規則で任命権者のこの許可の基準を定めることができる。

○地公法(営利企業への従事等の制限)

第38条 職員は、任命権者の許可を受けなければ、商業、工業又は金融業その他営利を目的とする私企業(以下「営利企業」という。)を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規則(人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体の規則)で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。

2 人事委員会は、人事委員会規則により前項の場合における任命権者の許可の基準を定めることができる。

(2) 制度の趣旨

職員が公務以外の事業など、特に営利性のある事業に従事したり、報酬を伴う仕事を行ったりする時は、そのことに注意と関心を奪われ、職務に対する集中心が欠けるおそれがあるため、こうした職務に悪影響を及ぼすおそれが強い行為を原則的かつ画一的に禁止し、もって職員の職務専念義務が損なわれることを未然に防止しようとしたもの。

(3) 制度の運用

○人事委員会規則(許可の基準)の位置づけ

人事委員会が規則で定める許可の基準は、任命権者間に不均衡が生じないように調整をとる趣旨のものであり、一般的基準を定めるべきもので、個々具体的に可否を定めるものではない。

○許可の流れ

許可に際しての具体の手続きや様式は任命権者が定め、運用している。

(4) 許可の基準

人事委員会が許可の基準を定める場合、あるいは任命権者が許可をする場合には、営利企業への従事制限が行われている趣旨を十分に考慮して行う必要がある。

- ・職務の遂行上、能率の低下を来すおそれがないこと
- ・職務の公正を妨げるおそれがないこと
- ・職員及び職務の品位を損ねるおそれがないこと

任命権者の許可は裁量行為であるが、以上の3点のいずれかについて相当の懸念が実在するにも関わらず許可を与えるようなことは、裁量の範囲を逸脱するものといえる。

2 制度の解釈について

(1) 許可の要否について

任命権者の許可を必要とする行為は地公法で定められており、これに該当しないものは、許可は不要と考えられる。

任命権者の許可を必要とする行為	許可の要否の判断ポイント
営利企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員等の地位を兼ねる	・営利を目的としない会社、団体であれば許可を必要としない
自ら営利企業を営む(自営)	・名義が他人であっても本人が営利企業を営むものと

	客観的に判断される場合は許可が必要となる ・経営の規模により許可の可否を判断する。 (例：農業、不動産・駐車場の賃貸、太陽光電気の販売)
報酬を得て事業又は事務に従事する	・報酬を得ない(実費弁償のみの場合を含む)場合は許可を必要としない。

(2)「営利企業を営むことを目的とする会社その他の団体」とは

会社法に基づいて設立される株式会社、合名会社、合資会社および合同会社、特例有限会社、その他営利行為を業とする社団も含まれる。しかし、農業協同組合、水産業協同組合、森林組合、消費生活協同組合などは、実質的には営利企業類似の行為を行っているのであるが、それぞれを規制する法律で営利を目的としないものとされているため、ここでの「その他の団体」には該当しないものと解されている。

なお、特定非営利活動法人(NPO法人)は、特定非営利活動促進法において「特定の個人又は法人その他の団体の利益を目的として、その事業を行ってはならない。」とされている。

(3)「報酬」とは

給料、手当などの名称いかんをとわず、労務、労働の対価として支給あるいは給付されるものをいう。しかし、収入がすべて報酬であるとされるのではなく、労務、労働の対価ではない給付、たとえば講演料や原稿料などの謝金や、あるいは実費弁償としての車代は報酬には該当しないものと解されている。

3 論点整理

自治体職員が報酬を伴う(副収入がある)社会貢献活動に従事することについて

- ・その意義は何か、何を期待するか
- ・許容される活動とは何か
- ・許可の判断の考え方(営利性、報酬、その他)
- ・制度のあり方
- ・職務と職務外との線引き

4 参考(各自治体での運用の事例)

○ 神戸市(H29.4.1～)、生駒市(H29.8.1～)

職員の地域活動への積極的参加を促進し、公共性のある組織で副業に就きやすくするため、職員が職務外に報酬を得て地域活動に従事する際の基準を定めた。

○ 長野県(H30.9.20～)

職員が「学びと自治の実践者」として、地域に飛び出し、地域や社会に貢献する活動へ積極的に参加するとともに、活動から得た「学び」を県政に活かす取組を応援する「地域に飛び出せ!社会貢献職員応援制度」を創設した。

この応援メニューの1つとして、職員が報酬を得て地域的、社会的貢献活動に従事する場合の許可基準を明確化した。

望ましい「公務員の福業」ガイドライン(案)

1 ガイドライン提案のねらい

- (1) 地域の人口が減少し、地域活動への担い手不足が恒常化する中、公務員がこれまでの経験を活かしながら、または、新たな知識を得ながら、地域の一員として地域活動に励み、住民との協働による地域づくりや活動を通じて得られる住民の視点を自治体施策に活かせるようになる「地域に飛び出す公務員の活動」は、これからの地域づくりにとって大切である。
- (2) しかし、公益目的で正当な対価としての報酬を得て行う活動であっても、一種の「副業」と捉えられ、営利企業等への従事制限に抵触するおそれから、許可されない場合も少なくない。
- (3) そこで、地域に飛び出す公務員を応援する首長連合は、地域に飛び出し、地域の一員として活動に取り組む公務員を増やすため、営利企業等への従事の許可基準による線引きを示すだけでなく、これらの活動を「福業」と称し、その望ましいかたちについて提案するものである。
- (4) 「福業」のねらいは副収入ではなく、働き方改革も踏まえ、「福業」から学んだことが本業の意識向上につながると考えることによるものである。

2 ガイドラインの方向性

- (1) このガイドラインは、「地域に飛び出す公務員」が活動に取り組みやすくするための環境を整えるために示すものであり、このガイドラインを参考にして、趣旨に賛同する自治体がそれぞれのガイドラインを定めることを妨げるものではない。
- (2) このガイドラインは、今後も、「地域に飛び出す公務員」や地域の声に耳を傾けながら見直すことを前提としており、必要に応じて改正していく。

3 望ましい「公務員の福業」とは

- (1) 時間外の活動であること
 - ・本務は勤務時間内に効率よく行い、時間外に行うのが「福業」。もちろん、休暇を取得しての活動も含む。また、長時間労働にならないよう、勤務時間に影響を及ぼすことのないように、自己管理も必要。
 - ・自治体は、「福業」を促進するため、「福業」のための休暇制度を充実していくことも必要。
- (2) 活動目的が非営利であること
 - ・非営利目的の活動が「福業」。非営利とは利益を上げないことではない。構成員の経済的

利益を追求し、団体の利益を構成員で分配するのではなく、団体の次の活動の資金に充てるような活動であれば「福業」である。

- ・自治体は、団体の活動に疑義があれば、団体の年間の収支決算報告を受け、営利活動でないことを確認する。
- (3) 報酬の金額や性質が適当であること
- ・「福業」ではボランティアとして交通費や弁当代を受けるのみならず、団体の収入規模に照らして、また、その業務内容に応じて適正な金額の報酬を受けることができる。なお、ここでいう「報酬」は、講演料、原稿料などの「謝礼」として受け取る、労務、労働の対価ではない給付を含まない。
 - ・自治体は、報酬金額の報告を受け、適正な金額であることを確認することが必要。
- (4) 雇用関係がないこと
- ・「福業」では、団体との雇用関係は結ばない。
 - ・自治体は、団体との関係に疑義があれば、活動する団体と雇用関係を結んでいない旨の誓約を受ける。
- (5) 公務員としての中立公正、品位を保持していること
- ・本務と利害関係のある団体での活動は「福業」とは言えない。公務員としての中立公正、品位を保持することは、次の「飛び出す公務員」を増やすために最低限守るべきルール。
 - ・自治体は、団体との関係に疑義があれば、活動する団体が本務と利害関係のある団体ではないことの誓約を受ける。

4 「公務員の福業」を行うにあたって大切にしたいこと

- (1) 活動を理解し合うため、また、「公務員の福業」を活発にしていくため、職場内でよく話し合いましょう。
- (2) 健康だからこそ「福業」ができます。健康管理にくれぐれも留意しましょう。
- (3) イキイキと「福業」をする姿が、「地域に飛び出す公務員」の仲間を増やすことにつながります。イキイキと楽しくやりましょう！

平成 30 年 11 月 17 日

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合
代表 鳥取県知事 平井伸治

欠席首長からのメッセージ

(以下、敬称略)

■北海道ニセコ町長 片山 健也

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」の開催をお祝いし、ご出席の首長並びに職員各位に心から敬意を表します。

「命短し恋せよ乙女♪」との歌が流れ、縦割り、前例主義に浸かる公務員像を描いた黒澤明監督の映画『生きる』が上映されて66年が経過します。「保身に走る公務員、正義を忘れた公務員の何と多いことか!」。

もう日本社会は後がない。今こそ、求められる、「地域に飛び出す公務員」。実践、実践の狼煙を全国で上げましょう!!

■山形県知事 吉村 美栄子

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」の開催、誠にありがとうございます。

私は、日頃から職員に対し、「県民視点」、「現場主義」、「対話重視」の3点を基本的な意識・姿勢として、業務に取り組んでほしいと話しております。

そうすることで、現場の実情や課題を正面から捉え、危機感を共有し、地域の皆さんと思いを同じくして今後の発展に向けた施策を立案・実行することができると考えております。

私たちの前に「これが正解だ」といった道筋はありません。既成概念にとらわれず、変化を恐れることなく、私たち自身の創意工夫と組織のチーム力、そして、外に広がるネットワークを最大限に活かして切り開いていきましょう。

この度の首長連合サミットの開催を契機といたしまして、地域に飛び出す公務員の皆さんのネットワークと活躍の場が一層拡大いたしますことを心から祈念申し上げます。

■山形県山形市長 佐藤 孝弘

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が岐阜県飛騨市にて開催されますことを心からお喜び申し上げます。

市長就任以来、私は「市民目線」の市政を目指し、市民との対話を大事にしながら様々な施策に取り組んでおります。そのような中で、職員にも、地域に足を運び、現場の声に耳を傾けながら新しいことにチャレンジすることを求めています。

こうした中、一市民として地域住民の方々と共に地域づくりに取り組んでいる皆様の活動は、正に、私が職員に求めている公務員像であります。私は、これからも地域に飛び出

す公務員の皆様の活動を心から応援いたします。そして、全国各地の公務員に、地域に飛び出す意義を伝播していただくよう更なるご活躍をご期待申し上げます。

結びに、本日のサミットが実り多いものになるとともに、お集まりの皆様のますますのご活躍をご祈念申し上げ、御祝いのメッセージいたします。

■茨城県石岡市長 今泉 文彦

第8回同サミット in 岐阜の開催を祝し、心からお慶び申し上げます。

私たち公務員は、変化躍動し続ける時代の流れを読み、新しい未来の姿を想定し、その中で市民の暮らしがどう変わるのかを常にキャッチし続けることが求められています。そのためにどうするか。答えは、現場にあります。

詳細な統計データや分析力、情報収集能力も大事なことです。現場には実社会で営む市民の生の声があります。長い経験に基づく考えや広い視野から導き出された提言など、深い思索や高い視座が生み出す卓越した考え方が随所に存在します。

日々現場に出て、アンテナを高くして地域の未来をキャッチしようとする意欲的な公務員を、私はこれからも応援していきたいと思います。

残念ながら本日は公務のため出席できませんが、関係各位のご尽力に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたします。

■埼玉県知事 上田 清司

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市において盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、日頃から地域に飛び出し、地域活動に尽力している公務員の皆様に改めて敬意を表します。

私は、積極的に地域活動へ参加するよう常日頃から職員に呼びかけています。それは、「真の役人」に必要な広い視野は、様々な価値観や考え方に触れることによって養われると考えるからです。

また、社会の担い手が減少していく中で、安心・安全なコミュニティを維持していくためには、地域の繋がりが重要です。そうしたことから、公務員が率先してこうした活動を行うことへの期待は、ますます高まっています。

本日は公務のため出席できませんが、このサミットを通じて皆様の取組の成果が広く周知され、地域に飛び出す公務員の輪が更に拡大することを祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

■埼玉県さいたま市長 清水 勇人

「第 8 回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」の開催を心からお喜び申し上げます。サミットをご準備いただいたご関係の皆様のご努力に心から感謝申し上げます。参加できずにたいへん申し訳ありません。

さいたま市は、今年が政令指定都市に移行して 15 年の節目であり、あと 3 年経ちますと、誕生から 20 周年を迎えます。

人口は、9 月 18 日に、ついに 130 万人を突破し、最新の市民意識調査では、さいたま市を住みやすいと感じる市民の割合が 84.2%にのびました。

市民の皆さんが、住んでいることを誇りに思えるまちをつくり、企業からも選ばれる東日本の中核都市づくりに職員一丸となって取り組んでいます。

人口減少や超高齢化の波が地域に到来する今日、職員が積極的に地域に飛び出すことは、これからますます大切になっていくと考えます。今回のサミットを通じて、地域に飛び出す公務員を応援する輪がさらに広がっていくことを大いに期待しています。サミットのご盛會を心からご祈念申し上げます。

■埼玉県秩父市長 久喜 邦康

『第 8 回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜』が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

市民との協働によるまちづくりを進めるためには、公務員が職場を飛び出して積極的に地域活動に参加することが大切です。

本サミットが地域に飛び出す公務員の今後益々の活躍につながる有意義なものになりますことをお祈りいたしております

■千葉県銚子市長 越川 信一

このたび、岐阜県飛騨市において「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長サミット in 岐阜」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

現在本市では総合計画を策定中です。新しい総合計画は、地域が持つ様々な「ちから」を掘り起し「つなぐ」ことにより、まちづくりの大きな「ちから」となって紡がれていくという視点を大切にしています。この「ちから」を「つなぐ」ためにも公務員が地域に飛び出し、行政と市民をつなぐことが求められます。限られた行政資源の中でよりよいまちづくりを進めるために、こうした公務員の活躍を応援していきたいと思ひます。

結びに、サミットのご盛会と関係者の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、私からのメッセージとさせていただきます。

■千葉県四街道市長 佐渡 齊

第8回を迎える「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」が、岐阜県飛騨市において盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

残念ながら公務により出席できませんが、日本全国から熱い公務員とそれを応援する熱い首長が集まり、また夜を徹して熱い議論が交わされることは、大変意義深いことと感じております。

この全国の仲間の想いをそれぞれの地域に持ち帰り、地域のためにさらにご活躍されることを心よりご祈念申し上げます。

■千葉県山武市長 松下 浩明

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市を会場に盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

情熱と信念に基づき、住民と共に地域活動に参加している多くの自治体職員の皆様に心から敬意を表します。

リーダーとして、あるいはサポーターとして、必要とされる役割を行動として実践することで、地域から信頼される職員として成熟し、住民と行政の協働によるまちづくりの実現に大いに役立つものと期待しています。

本日のサミットのご盛会とお集まりの皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

■千葉県いすみ市長 太田 洋

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長サミットin岐阜」の開催おめでとうございます。飛騨市において大会が大いに盛り上がることを願って、私からメッセージを送ります。

今、市町村は地域の課題の解決と次代に残す地域づくりが求められており、地方創生を成し遂げるためにそれぞれ地域づくりにご尽力されていると思います。地域づくりは人づくりと言われますが、公務員も一市民として地域の原動力とならなくてはなりません。人材を育成し、有能な職員をどれくらい育てあげたかが自治体間競争に勝つポイントと考え

ます。多くの人が集い、意見発表を通して自己を磨くことは、人間育成に有益であります。

この度、ご参加された皆さんはそれぞれ自治体の有能な職員であります。更に大きく成長して欲しいと思います。この機会を通して、サミットのめざす地域を担う人材が育つことを期待し、私からのメッセージと致します。

■千葉県酒々井町長 小坂 泰久

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長サミット in 岐阜」が、飛騨市において盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

本格的な人口減少時代が到来し、自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、自治体職員には地域のあらゆる課題に対応できる総合力が求められています。この「総合職員」となるためにも、職員自らが率先して地域に飛び出し、地域の課題を発見し、その解決に向け地域と共に考え行動することが非常に重要だと考えています。

本日は、公務が重なり残念ながらサミットへの参加が叶いませんが、地域に飛び出す公務員を志し日々自己研鑽と自己改革を重ねられている皆さんには、全国の志を同じくする仲間との交流を深めていただき、さらに大きくネットワークが広がっていくことを期待しております。

結びに、今回のサミットのご盛会と皆様のますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

■千葉県神崎町長 石橋 輝一

第8回 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットが岐阜県飛騨市にて開催されますことを心からお喜び申し上げます。

初めて参加させていただいた、第3回の山武市でのサミットで、当時職員であった都竹市長の「鶏ちゃん合衆国」の取組みに非常に感銘を受けたことを思い出します。

「地域に飛び出す」ということは、職員が職場でも私生活においても喜びを感じることができるということに繋がります。地域を知り、様々な人と出会い「職員」である前に町民として一緒に汗を流すこと。一人でも多くの職員が「一歩」飛び出せるよう応援していきたいと思います。

今回のサミットのご盛会と、全国の地域に飛び出す公務員のますますのご活躍をご祈念いたしましてメッセージといたします。

■東京都武蔵村山市長 藤野 勝

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が岐阜県飛騨市で開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

また、日頃から「地域に飛び出す公務員」として地域住民のために東奔西走、尽力されている皆様に改めて敬意を表します。

公務員が日常の業務はもとより、自治会、PTA、消防団活動など様々な活動を通じて現場や地域に飛び出して地域住民と積極的に関わり、一緒に悩み、考え、共に汗をかくことは、考え方や視野を広げるばかりでなく、お互いの信頼関係を築くことができ、そこから「人と人との絆」が生まれ、よりよい地域づくりの原動力になると考えています。

今後も首長連合の一員として「飛び公」スピリットを広めるとともに、その活動が活力ある、そして魅力ある地域づくりの一助となるよう、地域に飛び出す公務員の皆様に応援していきたいと考えております。

結びに、岐阜サミットの御盛会と参加者皆様の今後のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

■富山県高岡市長 高橋 正樹

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が、飛騨市において盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、日ごろから地域住民とともに、様々な地域活動にご尽力されている公務員の皆様に改めて敬意を表する次第であります。

サミットへの参加を楽しみにしておりましたが、公務のためどうしても出席することができず、大変残念に思っております。今後も首長連合の趣旨に大いに賛同し、地域に飛び出す公務員の活動を応援していきたいと考えております。

今回のサミットにおかれても、参加される全国の首長と地域に飛び出す公務員による熱い議論が交わされ、首長連合として活動の輪がより一層広がっていくものとご期待いたします。

末筆になりますが、サミットの盛会とお集まりの皆様の更なるご活躍を心からお祈り申し上げます。私からのメッセージとさせていただきます。

■山梨県北杜市長 渡辺 英子

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が、飛騨市において盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

私自身、地域に足を運んで地域の皆様と語る場を持ちながら、市民の皆様と一緒に、「幸せ」と誰もが思える市を創り上げてまいりたいと考えております。

少子高齢化、人口減少、コミュニティの希薄化など、大きな課題となっている中、市民が健やかで幸せであり続けるためには、「人と人とのつながり、人と自然とのつながり、人と食とのつながり」が大切であり、『お宝いっぱい健幸北杜』を掲げ、「子育てと福祉」「雇用と産業」「教育」「スポーツと芸術」「若者と女性の活躍」の5つの施策を柱に市政を推進しております。

そうした中で、地域づくりを担う人材の育成、確保も重要であります。職員は、地域に飛び出し、率先して地域活動を担っており、若者が少ない中で若い職員は地域になくてはならない存在であります。引き続き、地域をけん引していただきたいと思います。と考えております。

また、企業や個人においても、地域活性化に向けて、行政と共に歩んでいただいている人財もあります。

市民、地域、企業、行政が心を合わせ、寄り添い合い、「自分たちのまちをより良くするため、自分たちでできることは自分たちで行う。」という郷土愛、北杜愛に満ちた、自主的でかけがえのないまちづくりを進めてまいります。

結びに、本サミットの御盛会と、地域に飛び出す公務員の皆様のますますの御活躍を心からお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

■長野県知事 阿部 守一

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市において盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げますとともに、開催にご尽力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境が大きく変化する中、新しい時代を切り拓き、未来を創造していくためには、私たち皆が主体的に学び、力を合わせて社会の仕組みを創り上げていくことが重要であると考えています。

長野県では本年9月、「地域に飛び出せ！社会貢献職員応援制度」を創設しました。職員一人ひとりが「学びと自治の実践者」として、地域に飛び出し、県民を取り巻く環境の変化を敏感に感じ取り、主体的に学び続けるとともに、活動で培われた新たな「学び」を、最高品質の行政サービスの提供、さらには「学ぶ県組織」への転換につなげてほしいと願っています。

結びに、本サミットの御盛会を祈念いたしますとともに、全国の地域に飛び出す公務員のさらなる御活躍をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

■長野県売木村長 清水 秀樹

第 8 回の地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットの開催を心からお喜び申し上げます。お隣の岐阜県でのサミット開催という事で近隣でもあり是非、参加したいと思っていたところ、公務のため出席ができなくなり残念です。

住民に寄り添い、地域のために頑張る公務員の活躍は頼もしいかぎりであります。

今後とも「地域に飛び出す公務員」の活動をしっかりと応援していきたいと思っております。

本日のサミットが実り多いものとなることと、お集まりの皆様の今後益々のご健勝とご活躍をお祈りしております。

■愛知県高浜市長 吉岡 初浩

『第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットin岐阜』のご盛会を心よりお慶び申し上げます。また、本サミットの開催にご尽力いただいた飛騨市、事務局及び関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

地域は人と情報の宝箱です。本日ご参加の皆さんが、本サミットをきっかけにより地域に飛び出し、地域の一員として課題に取り組み、ますます活躍されますことを祈念いたします。

■愛知県岩倉市長 久保田 桂朗

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市において盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

他の公務のため、出席できないことが大変残念ではありますが、活気あふれるみなさまの活動を大変うれしく思っております。今後も本連合をきっかけとし、たくさんの方々の活動が広がっていくことを期待しております。

結びに、本サミットに参加されるみなさまの更なるご活躍と本サミットの成功を心よりお祈り申し上げ、私からのメッセージとさせていただきます。

■愛知県大府市長 岡村 秀人

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」の開催、心からお喜び申し上げます。公務とは別に、一住民として役所を飛び出し、地域のために活動している公務員の方々には心より敬意を表します。

今回の「地域に飛び出す公務員アワード」の審査に当たり、多くの公務員の皆様のすばらしい活動を知ることができ、とても心を打たれた次第です。公務員の皆様の力強い活動が、それぞれの地域に活力を生み出し、今後のまちづくりの原動力となるものと大いに期待するところであります。

本市では、「協働のまちづくり」を進めておりますが、市民との協働をさらに進めるには、公務員である職員のファシリテートが不可欠であると考えており、人材育成に取り組んでいます。今後も職員の地域組織への参画も含め、地域に飛び出す公務員として地域活動に積極的に参加する職員を積極的に応援してまいります。

今回は、他の公務があり出席できず大変残念ですが、本サミットのご盛会と参加者の皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

■三重県知事 鈴木 英敬

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市において盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

今回の首長連合サミットに合わせて実施された「地域に飛び出す公務員アワード」には、全国から25件と多くの応募があったとお聞きしています。

また、公務員の副業に関する首長アンケートが実施され、ガイドラインの提示等について議論されています。

このような取組を通じて公務にプラスして地域の一住民として様々な活動を行い、地域の発展に貢献するネットワークが広がることを大いに期待しています。

私は「幸福実感日本一」の三重の実現に向けて、年平均 236 回(ほぼ毎日)現場を訪問するなど、自ら現場に足を運び、自分自身の目で見て、現場の声に直接耳を傾けながら、県政を推進しています。

これからも、首長連合サミットに参加してみえる皆さんとも一緒になって、現場、現物、現実を重視する三現主義を信条に地域に飛び出し続けていきたいと思いをします。

最後に、第8回サミットの御盛会と、全国の地域に飛び出す公務員の皆さまのさらなる御活躍を心よりお祈り申し上げます。

■三重県伊賀市長 岡本 栄

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」が岐阜県飛騨市で開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今回、地域で活動されている皆さんの事例を本サミットで発表していただく「地域に飛び出す公務員アワード 2018」の審査をいたしました。どの事例も熱い想いを持って、

地域の一員として積極的に活動に取り組まれており、本当に頼もしく、そして嬉しく感じました。今後も「地域に飛び出す公務員」の皆さんの活動をしっかりと応援させて頂きたいと考えております。

今回は公務のため参加ができませんが、サミットのご盛会とお集まりの皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

■滋賀県知事 三日月 大造

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」が岐阜県飛騨市にて開催されますことを心からお喜び申し上げます。

私も皆さんと同様に地域に飛び出す「現場主義」を大切にしています。地域で暮らし、地域で語り、地域で体験をする中で、地域の皆様の共通の願いとして「健康」というキーワードに至りました。そこで、滋賀県では、「人の健康」、「社会の健康」、「自然の健康」の取組を進め、「健康しが」を創造・発信していこうとしています。

どうか皆さんも対話・共感・協働を基本に据えながら、「楽しく仕事をする」ことを心掛けてください。いきいきとやりがいを持って働く全国の地域に飛び出す公務員の皆さんを心から応援しています。

結びに、本日のサミットが実り多いものになるとともに、お集まりの皆様のますますの御活躍をお祈りし、お祝いのメッセージといたします。

■兵庫県西脇市長 片山 象三

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市において盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本格的な人口減少社会へと向かう中、地域における自治体職員の役割と責任は今後ますます重要なものとなってまいります。

また、自治体職員の数も減る一方、求められる行政サービスは高度化し、行政の力だけで現在の必要なサービスを提供し続けるには限界を迎えつつあります。これからは、地域住民と行政が協働して、地域の抱える課題を解決していかなければなりません。その第一歩として、自治体職員が積極的に地域に飛び出し、住民の方々と共にまちづくりに取り組むことが、地域活動の原動力となり、「住民主体のまちづくり」「持続可能なまちづくり」へと繋がっていくのではないかと考えます。

地域に飛び出す公務員の皆様の誇りに思うとともに、皆様の活動が今後も地域の活力となり、更に大きな活動の輪が広がりますよう、これからも地域に飛び出す公務員を応援

援していきます。

最後になりましたが、サミットの御盛会とお集まりの皆様の更なる御活躍を心から祈念し、私からのメッセージとさせていただきます。

■兵庫県朝来市長 多次 勝昭

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長サミットin岐阜」の開催が、飛騨市で盛大に開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。

この度は公務のため急遽欠席させていただくこととなりました。本会では「地域に飛び出す公務員アワード」も開催されるため、受賞者の皆様の発表をお聞きしたいと思っておりましたが、参加がかなわず残念至極でございます。

本市では地域の活動はもちろん、小中学校のPTA活動、消防団、ジュニアスポーツの指導や青少年育成に職員が積極的に取り組んでいます。ですが今後の人口動態を鑑みますと、地域貢献や社会課題の解決といった公益活動において、さらに担い手不足が深刻になると考えられます。そのような中で「望ましい公務員の副業」について議論が行われ、地域に飛び出す公務員を後押しできることは大変有意義であると感じております。

最後になりましたが、サミットの開催準備にあたっていただきました事務局の皆様、大変ありがとうございました。サミットの御盛会と、お集まりの皆様の御健康、御活躍をお祈り申し上げます。

■兵庫県宍粟市長 福元 晶三

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

また、開催にあたりご尽力いただきました関係各位に深く感謝の意を表します。

私は常々、職員の職場は市役所の中だけではないと考えております。

市全域を職場と捉え、地域活動に積極的に参加することで、机上の業務で分からない地域の魅力や課題など、様々な事が見えてくるのではないかと考えています。

地域から多くのことを学び、自分自身が一回りも二回りも大きく成長することにより、行政サービスの向上につなげていってほしいと願っています。

宍粟市は、そんな職員と一丸となって「人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち」の実現に邁進してまいります。

結びに、本日のサミットのご盛会とお集まりの皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

■奈良県生駒市長 小紫 雅史

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」の開催、心からお喜び申し上げます。また、日頃から様々な地域活動にご尽力されている公務員の皆様に敬意を表します。

今回は4回目となる「地域に飛び出す公務員アワード」の事例発表が行われると聞きしております。かつて地域に飛び出す公務員であり、第1回の本アワード受賞者でもある都築飛驒市長のご出身地で本サミットが開催されることは大変感慨深いことと存じます。

本市では、地域に飛び出すことで市民と共にまちの新たな価値を創造できる人材の育成に取り組んでおり、昨年7月に職員が地域に飛び出しやすくなるための制度として、報酬を得て地域活動に従事する際の基準を定めました。そして今年7月、その基準を緩和し、職員の地域活動をさらに推進しているところです。

公務重複のため、今回は出席できず大変残念ですが、サミットのご盛会と参加者の皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げまして、私からのメッセージとさせていただきます。

■和歌山県新宮市長 田岡 実千年

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛驒市において盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

新宮市の目指すべき職員像は「新宮市に誇りを持ち 新たな課題に果敢に挑戦する市民から信頼される職員」と定めております。

私は、自分達のまちをよく知り、その課題を肌で感じ、課題や問題にチャレンジ精神で挑み、市民サービスの向上に貢献していく職員こそ、市民から信頼される職員だと考え、人材育成に取り組んでおります。

皆様方の想いと活動は、全国の公務員の心を動かし、地域社会をより素晴らしいものへと高めていくものと確信しております。

他の公務のため、出席できず大変残念ですが、本連合の活動の輪が今後益々広がっていくことを期待するとともに、サミットにご参集の皆様方の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

■鳥取県倉吉市長 石田 耕太郎

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が岐阜県飛驒市で盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

鳥取県中部地震が発生し、2年が経過しました。倉吉市においても完全復興を最優先課題として様々な取り組みを行っております。それに加え「中心市街地活性化基本計画」を策定し、中心市街地の活性化を図っております。最近では市民の皆さんの中でも、中心市街地を何とか元気にしていこうという機運が出てきています。また、いくつかの企業が力を合わせて中核的な施設の設置をし、活性化につなげようという動きも出ています。こうした動きをできるだけ後押ししていく努力をしながら、市街地の活性化につなげていきたいと考えております。災害からの完全復興とともに将来に向けた倉吉市のまちづくりを行政と市民が一緒になって、取り組んでまいります。

最後に、皆様のご活躍と本日のサミットが実り多いものとなることをお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

■鳥取県北栄町長 松本 昭夫

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が飛騨市で開催されますことを心からお祝い申し上げます。

「地域に飛び出す公務員アワード」では事例発表が行われます。私も審査に参加しましたが、どの活動もチャレンジ精神と意欲にあふれており、とても嬉しく思いました。

北栄町では、今年 9 月にアメリカの人気司会者コナン・オブライエンさんが来町し、1,000 個のハンバーガーを町民にプレゼントするサプライズイベントがありました。きっかけは 8 月末にアメリカのTV番組で本町が紹介されたこと。それを知った職員達がメッセージ動画を製作したところ、番組で取り上げられ、司会者の来町が実現しました。今の時代、海外ともすぐにつながり、一緒に何かができることを実感しました。今後も多くの職員が意欲を持って動きだせるよう、私もその背中を支え、ともに前進して参ります。

最後になりましたが、サミットに参加の皆さまのご活躍と、サミットの成功を心からお祈り申し上げます。

■鳥取県米子市長 伊木 隆司

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が、飛騨市において盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、日ごろから地域の方とともに、様々な地域活動に尽力されている公務員の皆様に改めて敬意を表します。

サミットへの参加につきましては、公務のためどうしても出席することができず、大変残念に思っております。今後も首長連合の趣旨に大いに賛同し、地域に飛び出す公務員の活動を応援していきたいと考えております。

今回のサミットにおかれても、参加される全国の首長と地域に飛び出す公務員による熱い議論が交わされ、首長連合として活動の輪がより一層広がっていくものとご期待いたします。

結びになりますが、本サミットの盛会とお集まりの皆様の更なるご活躍を心からお祈り申し上げて、私からのメッセージとさせていただきます。

■島根県雲南市長 速水 雄一

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」の開催、誠におめでとうございます。

地域に飛び出し様々な活動に尽力されている公務員の皆様、またその活動を応援していらっしゃる首長の皆様に敬意を表します。

「働き方改革」が議論される昨今、公務員も今までにはない働き方、活動の仕方でさらに地域に飛び出し、地域での活動に活発に関わっていく事が大切になっていくと考えております。

地域の活性化や、自然災害に備えた防災活動など公務員の強みが発揮できる舞台はたくさんあります。地域の皆さんを引っ張るリーダーとして、または地域を支える屋台骨として、公務員には多くの期待がされていることと思います。今後も多くの公務員が地域に飛び出し、活動の輪を広げていく事を期待しております。

地域に飛び出し、様々な活動をされている公務員の皆様のご活躍を今後も応援するとともに、本会のますますのご発展をご祈念いたします。

■岡山県真庭市長 太田 昇

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合 in 岐阜」の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。

行政は、地域の方々の幸せづくりの会社です。公務員の皆さんにこの思いを共有し、地域で汗をかいていただきたい。自然、ひと、文化、産業等その点と点を地域の方々と繋げて磨き、地域を輝かせ、元気にする取り組みへと発展させてください。

今後も共に汗をかき「地域に飛び出す公務員」の皆さんの活動を全力で応援していきたいと思います。

今回は公務のため参加がかなわず大変残念ですが、サミットのご盛会とお集まりの皆様の更なるご活躍をお祈り申し上げまして、メッセージとさせていただきます。

■広島県神石高原町長 入江 嘉則

第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットが、岐阜県飛騨市において盛大に開催されますこと誠におめでとうございます。また、全国の飛び出す公務員を支援されておられる首長の皆様のご活躍に心から敬意を表します。今年こそはと思っておりましたが、地元での行事により残念ですが参加が叶いませんでした。

さて、広島県神石高原町では「誰もが挑戦できるまち神石高原町の創造」をテーマに、様々な分野で取り組みを進めています。町民の誰もが一步踏み出し挑戦する。その挑戦、熱い思いをみんなで応援する。そんな取り組みが増えてくれば、素晴らしい町に発展していくと確信しております。私も町の職員で、地域に飛び出す公務員 ML などにも参加し、情報交換発信等させて頂いておりました。

やはり、公務員は様々な情報、アイデアを持っていますし共有することが出来ます。その公務員の地域に及ぼす影響力は非常に大きいと思います。これからも首長として、多くの公務員が地域に飛び出すことを全力で応援致します。

結びに、本サミットのご盛会と地域に飛び出す公務員の益々のご活躍をこころからお祈り致します。

■愛媛県西予市長 管家 一夫

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が、飛騨市において盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

西予市は、この度の平成30年7月豪雨災害により、市内各地で水害や土砂崩れなど、甚大な被害を受け、現在も多くの市民が仮設住宅等での避難を強いられています。

災害直後から、支援物資や義援金、また多くの方々のボランティアなど、全国各地より多くのご支援をいただきました。その中には、地域に飛び出す公務員やそのネットワークによるご支援もたくさん頂戴いたしました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

また、この様な危機的な災害を目の当たりにして、自身が受けた被害やプライベートを顧みず、休みなく災害対応業務や消防団活動、またボランティア活動など、必死に地域と一緒にあってこの苦難を乗り越えようとする市役所職員の姿とその底力を見ることができました。

この様に、公務員が地域に飛び出し、地域と一緒に寄り添う行動は、きっとこれから先の地域社会の明るい未来につながるものと確信しております。

他の公務のため、今回のサミットには出席できず残念ですが、サミットのご盛会と、ご参集の皆さまの活動の輪が今後益々広がっていくことをご祈念申し上げてメッセージといたします。

■佐賀県武雄市長 小松 政

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」の開催をこころよりお祝い申し上げます。

私たち市町村の仕事の舞台は、市民の皆さんの生活と密着した現場です。そして、私たちの仕事は、市民の皆さんの幸せを創造すること。ただ、市民の皆さんは、一人一人興味や関心も違いますし、抱えている課題や悩みも違います。

答えは常に現場にあります。実際にあちこちの現場へ行って、一人でも多くの方々と会う。会って話をたくさん聞く。その中に、問題を解決するヒントが必ずあります。机の上では聞けないその声がきっかけとなって、また新たな政策が生まれます。

本日、お集りの同志がつながり、思いを共有し、行動にうつし、さらによりよいまちづくりに繋がっていくこと、皆様のますますのご活躍をこころよりお祈りいたします。

■佐賀県小城市長 江里口 秀次

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

日頃から公務とは別にプラスワンの活動として、積極的に地域活動に参加し、組織や地域を盛り上げ、リーダーシップを遺憾なく発揮されている職員の皆様に心から敬意を表します。

私たち一人一人が、職員一人一人が、働き方、地域との関わり方を意識し、そして積極的に参加することで、職場、地域が元気になり、チームとして大きな力を発揮することができ、ますます地域が活性化するものと思っております。

地域に飛び出す公務員を応援する首長連合も一チームとして力を合わせ、全国の同じ志をもつ職員のお手本となっていただければと思っております。

本日は公務のため出席できませんが、ここに集う地域に飛び出す公務員の皆様の今後のご活躍とサミットに参加された首長の皆様、サミットの運営に携われた役員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

■長崎県新上五島町長 江上 悦生

「第8回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット in 岐阜」の開催を心からお祝い申し上げます。

新上五島町には平成30年7月、世界文化遺産に登録されました「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」構成資産の「頭ヶ島の集落」にある頭ヶ島天主堂をはじめ、29

もの教会堂が存在しており、世界遺産登録を契機として、更なる来訪者の増加が見込まれております。

人口減少が続く中、職員が地域に飛び出し、地域の皆様と力を合わせ、昨年4月に施行された国境離島新法などを活用しつつ、知恵を出し合い、未来につながるまちづくりに取り組むことは今後ますます必要となってきます。

参加者皆様の熱い思いと協働の精神がより多くの人々の心を動かし、首長連合の輪がさらに広がることを心から願うとともに、今回のサミットの盛会を祈念申し上げます。

■熊本県合志市長 荒木 義行

「第8回 地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミットin岐阜」の開催を心からお祝い申し上げます。

また、首長の皆様を始め、公務員の皆様におかれましては、日々、地域の発展にご尽力されていることに敬意を表します。

公務員は、自分も地域の一員であることを自覚し、地域の課題や取り組みに主体的に関心をもっていく必要があります。そうすることで、市民のニーズを的確に捉えたスピーディな対応が可能となり、また、地域の活性化はもちろん、地域とのつながりやコミュニケーションの円滑化など、普段の仕事にもつながってくると思います。

本サミットの開催を契機とし、サミットの成果が広く周知され、地域に飛び出す職員の輪が更に拡大し、地域に飛び出す公務員が1人でも増えますことを、心から祈念申し上げます。



【ロゴマークについて】 作者：藤本 紗織さん（兵庫県朝来市在住 会社員）

★ロゴマークに込めた想い

キャッチフレーズ「公務員よ！飛び出せ！やり出せ！頭出せ！」をイメージしました。全体の形はでんでんむし（カタツムリ）をモチーフに。丸が重なっている部分は、地域の輪からネットワークが重なり広がって行くイメージ。いずれかは日本全体へと、つながる・つなげていく公務員の方のパワーを、また、そのパワーが勢い良く飛び出していくイメージを矢印で表しました。

★作者からの地域へ飛び出す公務員へメッセージ

「地域をより良くしていこう！」と誰もが思っているながらもなかなか大変なことです。そんな中で、行政・地域のプロフェッショナルである公務員の皆さんが地域で一緒に活動してくだされば、住民としては大変心強く感じます。よく、「行政は遅い」と言われるなかで、一住民として地域へ出て、同じ立ち位置・目線で活動することが反応の早さにもつながり、それが住民からの信頼・安心感へ、そしてより良い暮らしの実現への協力体制が築いていけると思います。

住民に勇気を与えるような、公務員の方々のパワーと行動力を期待しています。